



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第27号

発行日
平成19年3月1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|-----------------|-----------------|
| P2 臨時総会・役員改選 | P6 入浜自然調査（第3回） |
| P3 研修会「応急手当の方法」 | ミヤジマトンボ生息地清掃 |
| P4 新役員・幹事紹介 | P7 秋の公募観察会、編集後記 |
| P5 高木自然保護官転任挨拶 | |



どんぐりで作った“お雛さん”

どんぐりでサンタさん、ゆきだるま、節分の鬼を、そして今回はひな人形を作って、季節の移り変わりを楽しんでいます。楽しんでいるつもりなのですが、歳とってくると時計の針はどんどん早く進んでいるようで、季節の変化が早く、楽しんでいるつもりが、追い回されています。（写真・文） 小方 翠彬

※この他にもたくさんネイチャークラフト作品が小方さんのブログに掲載されています。（編集部）

4月7日(土) 総会

平成19年度PVの会 定期総会を下記要領で開催しますので、会員の皆様多数ご出席ください。

日時 4月7日(土) 10:30~12:00
(10:10より受付)

場所 廿日市市宮島支所 会議室

※午後からは小なきり浜の清掃活動を実施します。

PVの会臨時総会・役員改選

PVの会では平成18年12月2日（土）宮島支所会議室に於いて部会打ち合わせ、臨時総会を開催しました。出席会員32名、委任状提出者6名でした。

出席会員 足立 池田 井上 岩崎 小方（嗣） 小川 佐渡 佐藤 島 末原 高光
竹内 塙井 中道 中本 西 野呂田 平田 佛崎 古川 前田（正）
舛田 松尾 丸平 宮崎 村上 森 柳瀬 矢吹 横山 横路 六重部

環境省 高木自然保護官

（1）部会打ち合わせ

10:30 から部会毎に集まり、来年度活動計画の意見交換、幹事の選出を行い新たに観察部会から高光、横路さん、環境整備部会から佐藤、平田さん、広報部会から岩崎さんの計5名が選出されました。

（2）臨時総会

11:30 から臨時総会に移り、先ず高木自然保護官からのあいさつのあと議事に入り、各部会長から今までの活動状況について報告がありました。

続いて役員、幹事、監査員の任期満了に伴う改選について、総会の前の臨時幹事会で選出された原案通り異議なく承認されました。

（役員・幹事・監査員いずれも任期2年）

「幹事」

観察部会 小川 加代 高光 幸三（新任）
中道 勉 舛田 祐子（部会長新任）
村上 光春 横路 晃（新任）

環境整備部会 佐藤 傑夫（新任） 島 千代喜
末原 義秋（部会長）
平田 広三郎（新任） 古川 義文

広報部会 足立 清（部会長）

岩崎 義一（新任）

「役員」

会長 村上 光春
副会長 足立 清
副会長 末原 義秋（新任）
会計 島 千代喜（新任）

「監査員」 野呂田 恵子

（4～5頁に新役員・幹事紹介文）

（3）研修会

午後からは同じ場所で広島日赤から講師の山田 純一氏を招いて、「すぐに役立つ応急手当の方法」と題した研修会を開きました。

現在研修中の新会員登録予定者も16人加わり、講義と実習。3時間以上もの有益な研修会となりました。（研修内容は次頁）

（4）年末懇親会

研修会のあとは昨年と同じく紅葉谷「山村茶屋」で有志の懇親会を「かきバーベキュー」で行いました。



一般公募 春の植物観察会

日時 3月25日（日）9:00 大元公園集合
一般公募人員（予定）30名

観察コース

大元公園（9:45出発）～駒ヶ林～弥山（弥山本堂）～紅葉谷公園（16:00解散予定）

担当幹事 舛田 高光

下見 3月17日（土）に会員の下見を同コース、同時刻で実施します。

研修会

屋外で不慮の事故に遭ったら！

日赤 山田指導員 「すぐに役立つ応急手当の方法」

舛田 祐子

- 会員にまず質問です。「皆さん、この支所の非常口はどこにありましたか？消火器は？」うへん？「まず安全を確保する。非常口、消火器、救助にかかる時間をあらかじめ気にしておく、これが大切です。」一般の方が参加される行事を開催する側としては、とても重要なことですね。始まったばかりなのに、目から鱗です。



- 身近で起こりうる事故、鼻血、ぶつかって歯が折損、目にゴミ、擦り傷・刺し傷、痙攣、熱中症、貧血、火傷、ぎっくり腰、捻挫、蜂や虫に刺された、蛇に噛まれた、また止血法や水分補給方法等多岐にわたり、とても分かりやすく軽妙な話術で対処法の講義がありました。
- 講義の後は実技です。会員同士で三角巾を使って骨折や捻挫、傷口の手当。毛布を使って担架にして搬送する方法。倒れている人のどこが悪いのか観察の仕方等、実際に聞いて、見て、練習をしました。
- いざという時、役に立つ身近にあり携帯出来る便利なものとして、買物袋、ビニール袋、綿棒、輪ゴム、傷に当てるシール、5円硬貨、毛抜き、瞬間冷却剤等の紹介もありました。
- 家で作るスポーツ飲料水・水分補給に、

下痢・嘔吐に効果あり

作り方は簡単、(材料・水1L・塩小1・砂糖小8・レモン)お試しあれ。

応急手当ってなに？・「それは今の状態より悪くしないこと。病院に運ぶまで、救急車が来るまでの手当です。」

なお、素人考えや言い伝えなどで治療をすると反って病院での治療の妨げとなることもあるそうです。また自分の持っている薬が誰にでも合う訳ではありません。

どのように手当をするか、何ができるか、時々このような講習会が必要ですね。

事故や怪我があつてはいけませんが、いざという時の知識や技術を学ぶことができた有意義な研修会となりました。



三角巾の使い方実習



山村茶屋で年末懇親会「かきバーベキュー」

よろしく

新役員・幹事紹介

会長 村上 光春

新進の心を持ち、マンネリ化を抑えながら、自然と文化の宝庫・宮島へのそれぞれの切り口からの会員の強い思いと、国立公園の保護と適正利用への寄与を謳う本会の目的とを調和させて、個人にも楽しく、また社会にも役立つ活動に努めたいと思います。

副会長

広報部会長 足立 清

P V活動がより有益なものとなるように、知力、体力の衰えを気力で補い頑張ります。

副会長（新任）

環境整備部会長 末原 義秋

皆様には、いつも宮島を慈しんでいただき誠に有難うございます。環境整備部会は、無理な作業をお願いするばかりでございますが御協力よろしくお願ひします。



会計（新任） 島 千代喜

私事に忙殺され、活動への参加が、おろそかになりがちな昨今です。今度会計を受け持つことになりました。気を引き締めて頑張ります。

観察部会長（新任） 弁田祐子

観察部会長という大役を仰せつかり緊張しています。未熟者でご迷惑をおかけしますが、皆様のご指導とご協力をいただきながら沢山の笑顔で活動できる雰囲気を作りたいと思っています。

幹事（新任） 岩崎 義一

新たに広報部会の幹事を務めます。従来よりの「みせん」の一層の充実と P V活動の広く対外的な連携と発信強化により P Vの会の価値を高めていきたいと取り組みます。

幹事 小川 加代

開発されていない部分が多く残されている宮島。この身近で貴重な島を後世に伝えていくお手伝いが少しでもできればと思います。今期もどうぞよろしくお願ひします。

幹事（新任） 佐藤 庸夫

宮島が好きで入会し、皆様のお陰で、ますます深みにはまっています。歴史は好きで、ほんの少しばかり解りかけてきましたが、植物のほうは何回受講しても進歩しません。三歩歩くと忘れております。気長に取り組みます。

新役員・幹事
(後列左から)
平田 横路 佐藤
古川 高光 末原
足立
(前列左から)
小川 弁田 島
村上 中道
野呂田 岩崎

入会してわずか3年で、幹事に推薦いただき緊張しております。少しでもお役に立てればと、思っております。

幹事（新任） 高光 幸三

3月で定年を迎え、これからは悠々自適かと思っていたはずが、世の中そんなに甘くはなく、ありついた職は土日も仕事があり、そんな中でPVの活動にも少々不安を感じているところです。

この度、幹事を引き受けましたことになりました。先輩の進めもあって、自分に出来ることがあれば役に立ちたいとの思いから当会に参加して、皆さんとともに活動できることを喜びとしています。

幹事となってこれをやってやろうなんて思いは端からありませんが、自然観察部会の活動を中心には運営に参画したいと思います。

幹事 中道 勉

会の発足当初は宮島の清掃や史跡探訪、植物や野鳥の観察会など中高年の遊びを主としていたが、最近は池や海岸の清掃、また絶滅危惧種に指定されている昆虫や植物などの保護対策に挑戦している。しかもそれだけの活動をこなせるだけの会員が存在していることに改めて感銘し、誇りに思っている。将来この会が更に発展し、法人化組織になることを夢見るものである。

幹事（新任） 平田 広三郎

今年度からの新任幹事です。皆さんの足を引っ張らないよう頑張りますので、ご協力をお願いします。

幹事 古川 義文

まだ自然への修業が足りず続投させて頂くことになりました。一緒に野山を駆け巡って自然と向き合う喜びを見出したいと思っています。

幹事（新任） 横路 晃

PVを始めて4年になります。穏やかだと言われつつも、意外と厳しい宮島の気象条件の中で懸命に、そしてたくましく生き続けている生物たちがいる事に気付きました。

この自然を壊すことなく沢山の生物が生存できる環境を護っていくことに努めていきたいと思っています。

監査員 野呂田 恵子

臨時総会の時、今回も何故か引き受けました。皆様に教えて頂きながら、頑張りたいと思います。

高木自然保護官

中部地方環境事務所へ転任

中国四国地方環境事務所・広島事務所の高木自然保護官は1月1日付で中部地方環境事務所（名古屋）へ転任されました。

PVの皆さんへ

高木 丈子

ご挨拶が遅れましたが、私こと広島自然保護官 高木丈子は、平成19年1月1日付で中部地方環境事務所へ異動となりました。今まで宮島 PVの皆さんには大変お世話になりました。この場をお借りし、御礼申し上げます。

平成16年4月に広島に赴任し、長くて短い2年9ヶ月の勤務でした。広島は初めての地で、知り合いもなく試行錯誤の毎日でしたが、そんな中、PVの皆さんと活動することは楽しくもあり、宮島などを勉強できる良い機会でした。

本当に皆さん熱心で良い方ばかりで、感動するとともに、保護官の先輩方の力も大きかったのだろうと思い、続く私がどれだけ活動を発展できるのか？とも思いました。

PVの皆さんとただ仲良くするだけでもだめだし、環境省の立場で言わないといけないこともあります、悩んだこともありましたが割り切ってやらせて頂き、生意気な部分もあったかと思いますが、皆さんのおかげで無事にやってこれました。

今後も瀬戸内海国立公園・宮島をみんなが大切にし、みんなで楽しめよう、PVの活躍を期待しています。私も名古屋の地で国立公園をみんなが楽しく利用でき、いつまでもすばらしい自然が残されるよう頑張ります。お互いに「初心と思いやりを忘れず、楽しい活動」をモットーに頑張って行きましょう。また会える日を楽しみにしています！

「みせん」次号発行予定

発行日 6月 1日

原稿締切 4月 末日

順の確認を行った。

入浜調査は19年度も継続して実施予定

(①7/7・②10/28・③08,3/23)

汽水池に戻すための水路開削工事も検討している。

宮島地区パークボランティアの会の活動フィールドとして、入浜は今後益々重要になってくると思われる。

今回の詳細調査結果は前2回の分も含めて観察部会で取り纏め「みせん」次号6/1号に掲載予定。 (岩崎 義一)



第3回 入浜自然調査 汽水池復活への取り組み

昨年5/14と11/5に引き続き、第3回目となる入浜自然調査が2/25(日)に行われた。

日時 2月25日(日) 9:00~15:00

参加者 池下 岩崎 佐藤 島 新川

未原 高光 中道 古川 弁田 村上

森 横路 六重部 田中自然保護官

まず現場に着いて驚いたことに入浜池は水域が半減、水深も50cmばかり低下、ヒトモトススキが剥き出しとなり、多くのゴミが浮き出ている。山からの水の流入が無く、海水も入らず、汽水池たる姿を完全に失っている。

今回は4グループに分かれ調査活動を実施。

①水質調査班

水温 6度~8度 pH 8.5

COD 18 塩分濃度 0.03~0.04%

水質の悪化が確認された

②水生動物調査班

B地点のみ採取出来る

バックスイマー (マツモムシ)

メダカ (又はカダヤシ) 捕獲

③植物調査班

調査範囲を海岸両端まで広げる

植物は前回調査と変わらず、海岸東側にタイミンタチバナ、西側にツバキの群落

④地質調査班

入浜池と海岸を結ぶ水路は完全に砂に埋まっている。約50cm掘り下げる地下
水が滲み出る。今後の復元作業計画の手



ミヤジマトンボ

生息地の環境整備、清掃

日時 2月22日(木) 9:00~15:00

参加者 PV 足立 池下 池田 小川

佐藤 島 未原 中道 平田 平山

佛崎 弁田 村上 森 森川 柳瀬

横山 六重部 田中自然保護官

環境省が特別地域保護種に指定した「ミヤジマトンボ」生息地の環境保全をグリーンワーカー事業の一環として行うのでPVも協力することになりました。

大野塩屋漁港から海路、宮島南西海岸に上陸し、広大植物実験所向井技官、環境保健協会上田室長指導のもと排水路の浚渫、ハマゴウ群生浜辺の清掃を実施しました。

この日は昨年3月ミヤジマトンボ保護管理協会と合同で実施した場所と同じ所で、昨年土のうを積み上げた排水路の護岸は健在でしたが、水路は土砂で埋まっており、かなりの

浚渫作業が必要でした。

ハマゴウ群生の砂浜は相変わらず、カキいかだの残骸や漂着物ゴミが所構わざ散乱していました。

このあと3月4日と6日にも場所を変えて実施します。両日とも大野塩屋漁港9:00集合です。



公募観察会 宮島の歴史と文化探訪

日 時 11月23日(祝) 9:00~15:00

参加者 井上 岩崎 小方(嗣) 佐渡

佐藤 中道 野呂田 弁田 村上

横路 六重部

一般参加者 11名

募集が「西広島タイムス」だけだったせいか、一般参加者11名と少なかったがPV会員11名を加えると歴史散策には丁度いい人数。

いまにも降りそうな雨を心配しながら、紅葉のさかりの中を、いつも名調子の中道さんの案内で要害山から新町・大東富くじ跡・不動堂から山辺の古径へと歩く。

富くじは当時1枚銀10匁もしたそうで、1両が銀60匁とすると、1枚買うのに今の貨幣価値に直すと約2万円に相当する。これが、最盛期には10万口も卖れたのだそうだから大したものだ。



案内役の中道さん

光明院(浄土宗)では住職さんにお願いして重要文化財の阿弥陀如来を拝観する。

大聖院で昼食。午後、大元神社から傘がいるかいらないかくらいの小雨。恐れていた大降りもなく楽しい一日、無事終了しました。

(佐藤 庸夫)

◇ 編集後記 ◇

▼ミヤジマトンボ生息地の環境整備に参加した人から、本当にトンボが復活するのかという疑問の声がでる。少なくとも3~4年は続ける必要があるともいわれる。息の長い取り組みになることは間違いない。現在専門家でも見つけるのが難しい、トンボがいつの日か我々の前をスイスイと飛び交う光景を想像するのも楽しいものです。 (足立)

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎2号館6階

TEL(082)223-7450・FAX(082)223-7451

宮島詰所

(〒739-0505)廿日市市宮島町1862-18

(宮島桟橋2F)